

飯山市放送番組審議会 会議録

出席者数：委員 7 人 事務局 4 人（企画財政課 2 人・㈱テレビ飯山 2 人）
欠席者数：委員 0 人

日時 平成 30 年 11 月 21 日（水）午後 3 時 30 分～
場所 飯山市情報センター

1 開会（進行：企画財政課長）

2 会長あいさつ

この審議会は年 2 回以上開催することとされている。今回が今年度 2 回目の開催で、任期中最後の会議となる。今回は自主放送番組が議題となっている。任期中最後の会議でもあるので忌憚のない意見を出していただきたい。

3 協議事項（進行：会長）

(1) 自主放送番組について

- ・市民チャンネル放送内容について（資料 1）
- ・㈱テレビ飯山説明（質問意見なし）

- ・「飯山いいところ TV」 10 月 22 日～24 日放送分
- ・㈱テレビ飯山説明
- ・この番組はいつから放送しているのか。（委員）
→今年の 4 月からスタートしている。（事務局）
- ・番組の着眼点（サークルや市内で活躍している人の紹介）が良いと思う。（委員）
→放送番組審議会で過去にいただいた意見を参考にしてスタートした番組。（事務局）
- ・サークル活動をはじめ、普段なかなか知ることのできない話題に触れることができる良い番組。もっと多くの人に視聴してもらえるようしっかり PR してほしい。（委員）
- ・インタビューを見て、今まで自分では気づかなかった「飯山の良いところ」を改めて気づくことができた。（委員）
- ・番組表を全戸配付しているが、こうした番組を視聴してもらうためにどう知らしめていくかが課題。（委員）
- ・良い番組を放送していることを改めて知ったが、放送していることを知らない方が多いのではないか。（委員）
- ・見逃してしまった場合の再放送の予定はあるのか。（委員）
→月末の放送を翌月初旬に再放送している。また、来月の年末特番でこれまでの放送分を再放送する予定。（事務局）
- ・紹介する人物や話題によっては、CM のように受け止められてしまうような心配はないか。どこまで放送できるのか、番組づくりの難しいところだと思う。（委員）
→例えば商品の価格は出さないというような配慮をしている。（事務局）
- ・収録の際には事前に打ち合わせをするのか。（委員）
→電話等で打合せはするが、収録の際は、ありのままのリアルな表情を放送できるよう、臨場感が出るように心がけている。（事務局）
- ・次回はどのような方が登場するのか事前に分かれると視聴のきっかけとなる。（委員）
→収録と番組表の制作時期の関係でタイミングが合わない。（事務局）
- ・例えば、市報にコーナーを設けて告知するのも良いのではないか。（委員）
→市報での告知は紙面の都合もあるので、可能かどうか検討したい。また、i ネットの

他の番組の中でお知らせする等、色々な告知の方法があると思うので検討したい。(事務局)

- 「ほっとスタジオ 11月7日～10日放送分
- ・(株)テレビ飯山説明
- ・行きそびれたイベント等市内の出来事の様子が分かって良い。(委員)
- ・これだけの内容のものを取材・編集して放送するのは大変だと思う。スポーツ大会や市内の様子、話題等バラン良く編集されている。(委員)
- ・市内で何が起きているのかわかりやすく、見ていて飽きない番組だ。(委員)
- ・インタビューの様子等を見ると、緊張のせいか特に大人たちの表情が硬い。テレビ放送は、「肖像権」や「プライバシー」への配慮等が必要なのは理解しているが、魅力ある番組づくりのため何を映像として流すか、何を見せたいのかといった判断が難しいと思う。(委員)
- ・ニュース等の情報収集はどのようにしているのか。(委員)
→主に市民の皆様からの情報提供や取材要請、市からのプレスリリース等に基づき取材している。常に情報収集に努めている。(事務局)

4 報告・その他

- (1) 飯山市情報通信施設条例第23条の規定により報告すべき事項について
 - ・報告すべき事項なし。(事務局)
- (2) その他
 - ・今夏、高校野球中継を行っていたが、視聴者からの反応はどうだったか。(委員)
→良い反響があった一方で、生中継のため試合時間が変更となってしまう、テレビ録画がうまくいかなかったというお話もいただいた。(事務局)
 - ・これまで会長として2年間の任期を務めた。委員のご協力に感謝したい。任期を振り返って、各委員から感想、要望等があれば発言をお願いしたい。(会長)
 - ・iネットの良い番組を多く放送していることを知ることができた。知人等にもPRするようにしたい。(委員)
 - ・審議会に出席して番組づくりへの真剣な思いが分かった。普段テレビを視聴する時間はなかなかとれないが、iネットを見ながら家族との会話もうまれた。多くの人に視聴してもらえるように情報発信していきたい。(委員)
 - ・普段視聴の機会がなかったが、改めて良い番組が放送されていることを知ることができた。(委員)
 - ・委員となって番組制作側の大変さを知ることができた。これからもiネットを視聴していきたい。(委員)
 - ・学校行事等とても良く撮影できていて助かる。自分で撮影する必要がないくらい。子どもの運動会の頃は、天気が気になってiネットのお天気チャンネルをしばしばチェックしていた。子どもを通じてiネットの視聴へとつながっている。(委員)
 - ・委員となり、iネットを身近に感じることもできた。番組づくりの際の細かい配慮や努力等意識して番組を見るようになった。(委員)
 - ・iネットの面白さを口コミで1人でも多くの人に伝えてほしい。(委員)
 - ・今年度からお天気チャンネルの内容を充実した。降雪期(11月～4月頃)は、市内観測所における12時間先の降雪量予測を放送している。ご活用いただきたい。(事務局)
 - ・これまでの委員各位のご理解とご協力に御礼申し上げますとともに、今後もCATV事業の推進に格段のご高配を賜りますようお願いしたい。(事務局)

5 閉会(16:31)